

かしま

HOT 通信

12月号 Vol.371

令和5年(2023年)12月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室
■発行/社団法人 養生会
〒971-8143
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、
QRコードを読み取り、アクセスしてください。
PCサイトと同じ内容をご覧頂けます。



ご意見・ご感想は...
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報企画室まで
kouhou@kashima.jp

1 巻頭特集

無痛MRI乳がん検診
アンケート結果のご紹介

世界糖尿病デーのイベントを
行いました

肩こり・腰痛予防ストレッチプログラム
実施報告

コラム ひんがら目(198)

「肺癌学会に参加してきました」

呼吸器科 部長 山根 喜男

ようこそ家庭医療へ!

リハビリPOST

健康ふくしま21推進県民表彰式受賞報告

かしま荘通信



年末年始の診療日等について

かしま病院外来棟の年末年始の診療について、
下記の通りご案内いたします。

令和5年 12月			令和6年 1月			
29日 金	30日 土	31日 日	1日 月	2日 火	3日 水	4日 木
診療	休診	休診	休診	休診	休診	診療



休診期間中は、送迎バスも運休しておりますので、ご注意ください。



巻頭特集

無痛MRI乳がん検診 アンケート結果のご紹介

~ Enquete ~

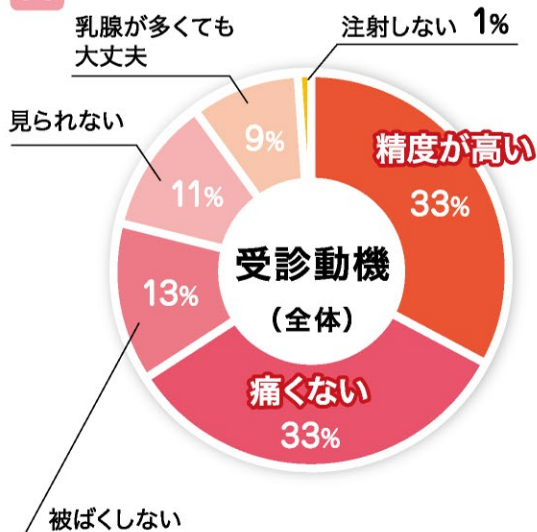
期間 2023年
9月7日~11月11日
人数 47名

Q

02

この検診を受けようと思ったきっかけは何ですか?

A

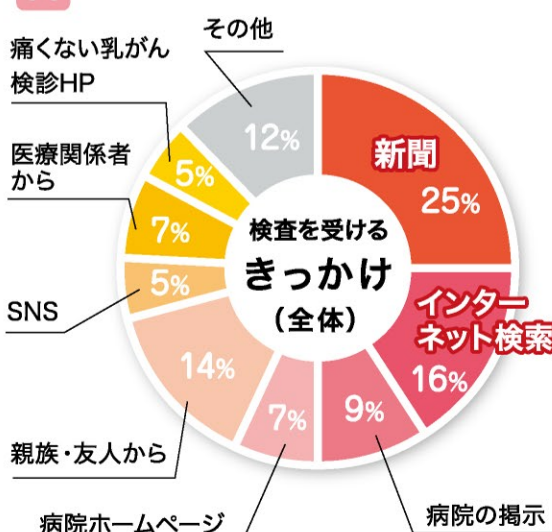


Q

01

この検診を知ったきっかけは何ですか?

A



当院は、今年の9月から無痛MRI乳がん検診を開始しました。これまで多くの方に検査を受けていただいております。今月号では、検査受診後のアンケート結果をご紹介します。

~ Enquete ~

Q

04

この検査を
すすめたいですか？

A 10点満点中 **9.1点** (最高点数 10点
最低点数 5点)

プラス面

- 痛くなく、服を着たままでいいので受診しやすい
- 短時間で苦痛もない
- 精度の高い検査が楽に受けられたから
- マンモグラフィーが苦痛な方に勧めたい

マイナス面

- 費用の高さ

Q

03

~ Enquete ~

受診後の感想を
お聞かせください。

- A
- 痛み、恥ずかしさがない
 - 簡単に受けられた
 - 寝ているだけで終わった
 - ネット予約なのでスケジュールが調整しやすい
 - 検査案内の封書を前もってもらえるので心得ができる
 - 検査前の説明が丁寧で良い
 - 費用が高い
 - 圧迫感があった



アンケートのご協力ありがとうございました。

いただきましたご意見・ご感想を参考に、皆様により安心して検査を受けていただけるよう精進してまいります。

無痛 MRI 乳がん検診・検査についてご案内



検査日時

※要予約

月	火	水	木	金	土
/	/	/	●	/	●

木 14:00、14:30、15:00 3名

土 10:30、11:00、11:30 3名

※検査時間は約 15 分、受付から検査終了まで約 1 時間となっております。



検査料金 19,800 円 (税込み)

予約方法



ネット予約

QR コードを読み取っていただき、必要事項を入力し予約してください。



電話予約

かしま病院健診センター 月～金 9:30～16:30
(0246) 58-8090 土 9:30～12:00
※祝日除く

※予約は 2 週間前に締め切ります。



看護部健診課より

無痛MRI乳がん検診はアンケート結果からもわかるように大変ご好評いただいております。単独検診のため、待ち時間が少なく、スムーズな案内が可能です。受検される方が安心して検査できる様スタッフ一同、心を込めて対応させていただきます。木曜日午後、土曜日午前のご予約枠となっております。お忙しい方も皆様お誘い合わせの上、是非「無痛MRI乳がん検診」を受けてみてはいかがでしょうか。

乳がんの発症は、30代後半以降に多いので、少しでも異常を感じたときは、この検査をご利用ください。ネットで簡単に予約も可能です。診断成績は極めて高く、受診者1000人中20人ほどのがんが見つかります。通常のマンモグラフィー検診を受けることに恐怖感がある方はぜひこの検査をおすすめいたします。



放射線科専門医
中山 文枝 医師

検診担当者から

ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医育成への挑戦 ～

第166回 患者のニーズに応える総合診療医

石井敦 病院長



臓器別専門性が発達し医療の高度化を遂げた昨今、患者さんの臓器専門医への期待も大きくなってきました。一方、専門外だからという理由で患者受け入れ拒否事例が頻発し、患者たらいまわしが社会問題になっています。社会ニーズに応えられない専門医ばかりを量産してきた我が国の医学教育の歪みが露呈しているのです。

「専門外を理由に断るなんて、医師としてこれほど情けないことはない!」一般の方から見ればそう思われるかもしれませんが。しかし、実際には専門外の研修を十分に受けずに育った医師にとって、専門外の診療に対応できるかどうかは、あくまでも個人の自己研鑽に委ねられることが多く、現実には困難です。これまでの専門医は深く狭くの学習でよかったので、基礎的総合臨床能力を鍛えないまま自身の専門領域に限定した診療内容で長年働く状況でした。これは個人の問題ではなく、医師養成制度自体に問題があったわけです。

そこで、2004年から新臨床研修制度が始まり、すべての臨床研修医が、基本的事項を多科にわたって学び、目の前の患者さんを断らない医師を養成していくことになりました。そ

して、その後、そのことを生涯の生業としていく総合診療医が新しい専門医として加えられたのです。

総合診療には「すべてを受け入れる」度量が必要であり、言うまでもなく守備範囲が広すぎるので、それだけやりがいもあり、一生勉強しても決して飽きることはありません。とある高名な総合診療医は、GMは、実は General Medicine (総合診療) の頭文字じゃなくて、Ginger Medicine の略なのだ! と自虐的に語りました。どういうことか? これは、生物・心理・社会的困難事例を毛嫌いして「うちじゃない」と断る「うちじゃ内科」が多いことを揶揄しつつ、どんな複雑困難事例にも「しょうがない」と立ち向かう「生姜内科」になろう! 心を折るな、骨を折れ! というメッセージです。患者さんが自分の身内だったらどう思うか? を想像しながら、自分が診たい疾患を診るのではなく、患者のニーズに応えるのが総合診療の真骨頂です。



かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する石井敦病院長は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



歩行補助具

今回は歩行補助具についてご紹介いたします。みなさんは歩行補助具と聞いて何を思いうかべますか? 歩行補助具とは何らかの原因により歩行困難となった場合に、歩行能力を維持あるいは獲得するために用いる道具の総称です。

家族や身近な人が使っている方もいるのではないのでしょうか。「杖＝高齢者が使うもの」といったイメージを持たれる方もいると思いますがそんなことはありません。

ケガや病気、加齢により身体機能の低下や痛みなどが要因となり転倒への恐怖心が強くなっていきます。転倒が怖い、疲れるから歩かない→体力が落ちる→歩けなくなる→介護が必要になるといった負の連鎖にもつながっていきます。そんな時はぜひ歩行補

助具の検討をしてみてください。

歩行補助具は大きく分けて2つあります。1つ目は杖です。脚が1点から4点の物があります。立位バランスや歩行能力が比較的安定している方が対象です。2つ目は歩行車タイプです。補助具自体が倒れにくく安定しているため歩行に不安が強い方も使うことができます。

補助具を選ぶときは使う人の身体能力、使う環境等を総合的に考えて選びます。中には屋内外で使い分けしている方もいます。補助具の種類によっては介護保険を利用してレンタルする物、購入する物があります。補助具によってメリット・デメリットがあるため一度レンタルして自分に合ったものを探してみるといいでしょう。迷ったときはケアマネージャーさんや通院先の病院で相談してみてください。

理学療法士 酒井 萌子



かしま荘通信

芋煮会

11月8日(水)



11/8(水)芋煮会を開催しました。豚汁や焼き鳥、鮭のちゃんちゃん焼きなどの料理を職員が調理しました。晴天にも恵まれ美味しい空気を吸いながら、会話も弾み、お腹いっぱい召し上がられ、楽しんで頂けた様子でした。

健康ふくしま 21 推進県民表彰式 受賞報告



「令和5年度 健康ふくしま 21 推進県民表彰式」にて、当院栄養課の西村道明さんが「知事感謝状 個人の部」を受賞しました。この表彰式は、県民の健康づくりに関わる公衆衛生の推進に献身的な活動を続け、他の模範となる実績を上げた個人及び団体が表彰されるもので、長年にわたり栄養士として活動してきた実績が県に認められての受賞となりました。



かしま病院公式 Facebook では、西村さんの受賞コメントを掲載しています。

